

## 拓本で巡る県外・国外に建つ上條信山揮毫碑

当記念展示室では、上條信山が揮毫した石碑を、2014年度に松本平を中心に、18年度は長野県内にある数々を拓本で紹介しました。今回は、県外や国外に建つ石碑に焦点を当て展示します。

石碑のために揮毫された書は、建立の目的や碑文の内容等によりそれぞれ趣を異にしています。石の形状や字数、建てられる場所等、作家は諸要素を勘案し、書体を選び、構成を十分に練って書き上げます。その工夫や表現の妙味、石に息づく上條信山の力強い書の魅力を感じていただければ幸いです。



上條信山「長寿村桐原碑」山梨県上野原市  
1977年建立（70歳）

### 昭和の書①

秋山白巖(1865～1954、上條信山が少年時代に弟子入りした師)が米寿を迎えた年(1952)、当時の書壇を代表する巨匠や気鋭の書家ら約70作家が会派を超えて御祝の作品を贈りました。

その作品群から、上條信山と同時期に「現代書道二十人展」へ出品した作家7名をご紹介します。昭和の書を牽引した作家たちの多様な表現をご覧ください。

[展示作家]

青山杉雨、小坂奇石、手島右卿、殿村藍田、廣津雲仙、  
宮本竹逕、村上三島 \*作家名は五十音順

